

市長に対する問責決議

3月定例会議最終日に提出された問責決議案について、提出者に対する質疑と、反対・賛成それぞれの立場から討論が行われました。採決の結果、賛成9人、反対8人で可決されました。以下に決議文と討論の要約を載せます。

依光晃一郎市長に対する問責決議

本市では、昨年5月から教育長不在の状態が続いています。年度末を目前にしての教職員の人事異動や朝ドラ「あんぱん」放送開始などを考えると速やかな教育長決定がなされるべきと考えます。

この間も議会として、依光市長と教育委員による話し合いの頻度を増やし、早期の打開を求めてきました。

しかし、この間の議長も参加しての市長と教育委員による話し合いの状況は、先の議会で「同意」されなかった方に、市長が固執し、一步も前に進んでいないことが明確となりました。

しかも決定的な問題は、教育委員や議会、また市民に対して、先の議会で「同意」されなかった方を、まだ「意欲はあると言っている」と述べてきたことです。

昨年12月定例会議において、保護者有志より「新しい教育長人事に集中し、前向きな話し合いが円滑に進められることを強く求めます」との内容の陳情を全会一致で採択したことを受け、先の議会で「同意」されなかった方に議長等が確認すると「教育長をやる意思はないので、新しい方を早く決めてもらいたい。この意思は、以前に市長に伝えている」とのことでした。

依光市長には、自らの言動が今日の事態を招いたことに対し反省を求めます。

また、議会からの再三の申し入れにも関わらず、3月定例会議に人事案件を提出できていないことに対し、責任を求めるものであります。

以上、決議します。

高知県香美市議会

反対討論

公文 直樹

人事同意案否決後、多くの時間が市長のバラバラ発言追及に使われた。一般質問も含め、複合的な要因で教育委員と市長の合意は困難になり進展を鈍化させている。責任は市長だけでなく、教育委員、議会にもある。

山崎 眞幹

今の喫緊の課題は教育長の不在の解消である。この決議を、問題の当事者で、しかも、教育長人事に同意する役割を持つ議会が提出するなどということになれば、市長の6月定例会議までにとりあえず再提案や、今後の展望にも悪影響を及ぼしかねず、議会としての認識・見解が疑われることは必定である。

賛成討論

山崎 晃子

教育の中立性や地方教育行政法改正後の教育委員の機能強化から考え、教育長人事においても教育委員会との意思疎通は重要。この間の話し合いと一般質問で、進展しない理由が市長の言動にあると明らかになった。

濱田百合子

昨年8月の段階で、以前提案された方は、教育長を断っているとのことにも関わらず市長がその方にこだわっていることは説明がつかない。

西村 剛治

教育長不在の影響に対し市長の危機意識が欠如している。多くの保護者・教育現場から出された早期解消を求める申し入れ等を軽視し、市民に解決の道筋を示せないまま、自らの発言・発信によって対立の構図を容認している。